



2014年 経済・経営 第5問

数理  
石井K

- 5 三辺の長さ  $x, y, z$  がすべて自然数であり、 $x + y + z = 100$ ,  $1 \leq x \leq y \leq z$  を満たす三角形について考える。ただし、合同な三角形は同一視して考える。次の間に答えなさい。

- (1) 最大辺の長さ  $z$  の取り得る値の範囲を求めなさい。
- (2) 与えられた条件を満たす三角形のうち、最大辺の長さが 45 の三角形は何個あるか。
- (3) 与えられた条件を満たす三角形は全部で何個あるか。

(1)  $x + y + z \leq 3z$  なので、 $z \geq \frac{100}{3}$   $z$  は自然数より  $z \geq 34 \cdots ①$

また、三角形の成立条件より、 $x + y > z$

$$x + y = 100 - z \text{ を代入して, } 100 - z > z \therefore z < 50 \cdots ②$$

①, ② より  $\underline{34 \leq z \leq 49}$  //

(2)  $z = 45$  のとき、 $x + y = 55$ ,  $1 \leq x \leq y \leq 45$

$$\therefore (x, y) = (10, 45), (11, 44), \dots, (27, 28) \text{ の } \underline{18 \text{ 個}}$$

(3)  $z = k$  ( $34 \leq k \leq 49$ ) とする

$$x + y = 100 - k, \quad 1 \leq x \leq y \leq k \quad \text{とみたす } (x, y) \text{ は}$$

(i)  $k = 2m$  ( $m$ : 整数) のとき。

$$(x, y) = (100 - 2k, k), (101 - 2k, k-1), \dots, (50 - \frac{k}{2}, 50 - \frac{k}{2})$$

個数は  $50 - \frac{k}{2} - (100 - 2k) + 1 = \frac{3}{2}k - 49$  個  $= 3m - 49$  個

(ii)  $k = 2m + 1$  ( $m$ : 整数) のとき

$$(x, y) = (100 - 2k, k), (101 - 2k, k-1), \dots, (\frac{99}{2} - \frac{k}{2}, \frac{101}{2} - \frac{k}{2})$$

個数は  $\frac{99}{2} - \frac{k}{2} - (100 - 2k) + 1 = \frac{3}{2}k - \frac{99}{2}$  個  $= 3m - 48$  個

(i), (ii) より、求める個数を  $S$  とおくと。

$$S = \sum_{m=17}^{24} (3m - 49) + \sum_{m=17}^{24} (3m - 48) = \sum_{m=17}^{24} (6m - 97) = \frac{8}{2} \cdot (6 \cdot 17 - 97 + 6 \cdot 24 - 97) \\ = \underline{208 \text{ 個}}$$